

(5) 市営住宅の状況

① 住宅管理戸数

本市の市営住宅の管理戸数は21団地1,465戸です。昭和40～50年代建設のストックの割合が半数を超えており、これら劣化の進行したストックの修繕費用の割合は市営住宅全体の修繕費の6割に及びます。今後はさらに修繕費用が高むことが予想されることから、市営住宅の長寿命化を図り、ライフサイクルコスト（LCC）の縮減を目指す必要があります。

表 11 市営住宅の管理戸数

住宅名	所在地	建設年度	戸数	用途				
				一般	単身	車いす対応	シルバー	店舗
尚徳 ¹¹	青木	S44	36	25	11			
大垣 ¹²	淀江町淀江	S47、S48	22	22				
河崎 ¹³	河崎	S45～S51	358	318	40			
青木	永江	S51～S60	222	222				
上福原	皆生温泉4丁目	S54、S56	60	60				
富益	大崎	S57、S58	66	66				
堀	淀江町淀江	S58	12	12				
両三柳	両三柳	S61	24	24				
安倍彦名	彦名町	S62～H1	88	88				
富士見町	富士見町	H2	55	47	6	2		
錦海町	錦海町2丁目	H4、H5	74	62	8	4		
義方町	義方町	H7	16	16				
皆生	皆生5丁目	H7、H8	33	22			11	
陰田町	陰田町	H9	40	37		3		
加茂	両三柳	H11	72	62	6	4		
西福原	西福原8丁目	H13、H14	100	76	12	12		
白浜	淀江町西原	H19、H20	32	24	6	2		
五千石	福市	H23、H24	73	48	21	4		
万能町	万能町	S46	16	12	4			
大工町	大工町	S54	29	20	9			
東町	東町	H9	37	35				2
計			1,465	1,298	123	31	11	2

※令和5年3月31日現在

¹¹ 用途廃止予定¹² 用途廃止予定¹³ 一部用途廃止予定

② 優先入居制度

市営住宅では、住宅の困窮度が特に高い世帯を対象に優先的に入居ができるよう優先入居制度を設けています。

表 12 市営住宅の優先入居制度

優先入居対象世帯	優先入居の方法
子育て世帯、ひとり親世帯、配偶者間暴力の被害者	3戸以上の一般向けの部屋を募集する場合、そのうち1戸を優先入居にあてる。
高齢者、心身障がい者	3階建以上の棟の1階の部屋を募集する場合、その部屋を優先入居にあてる。

③ 入居申込及び入居措置数

令和4年度の市営住宅の募集戸数及び入居申込者数は表13のとおりです。築年数の浅い住宅（設備等利便性が高い住宅）、市の中心部に近い住宅（病院、スーパー等利便施設が集中している地域）に申込みが集中している傾向が見受けられます。市中心部の市営住宅に対する需要が高いことが分かりますが、必ずしも必要戸数を供給できているとは言い難く、セーフティネット住宅など民間賃貸住宅の活用も進めていく必要があります。また、落選した申込者に対しては、必要に応じて居住支援を行う必要があります。

表 13 市営住宅の募集戸数及び入居申込者数

区分	住宅名	優先入居			一般入居		
		募集戸数	申込者数	応募倍率	募集戸数	申込者数	応募倍率
一般世帯向	青木	1	1	1.0	—	—	—
	上福原	2	2	1.0	3	6	2.0
	安倍彦名	—	—	—	3	7	2.3
	万能町	—	—	—	4	6	1.5
	富士見町	1	1	1.0	—	—	—
	錦海町	1	1	1.0	5	4	0.8
	皆生	—	—	—	2	17	8.5
	東町	1	9	9.0	—	—	—
	陰田町	—	—	—	1	3	3.0
	加茂	1	2	2.0	—	—	—
	西福原	—	—	—	1	15	15.0
	五千石	1	2	2.0	2	13	6.5
	白浜	—	—	—	2	11	5.5
	受託県営	—	—	—	2	2	1.0
	随時	1	1	1.0	7	7	1.0
計	9	19	2.1	32	91	2.8	

区分	住宅名	優先入居			一般入居		
		募集戸数	申込者数	応募倍率	募集戸数	申込者数	応募倍率
単身者向	万能町	1	9	9.0	-	-	-
	富士見町	-	-	-	1	5	5.0
	錦海町	-	-	-	1	6	6.0
	西福原	-	-	-	1	13	13.0
	計	1	9	9.0	3	24	8.0
車いす 住宅対応	西福原	-	-	-	2	3	1.5
	計	-	-	-	2	3	1.5
合計		10	28	2.8	37	118	3.2